

おおつち 社協会報

No.81
2020.7

【編集・発行】
ae 社会福祉法人 大槌町社会福祉協議会
住所：岩手県上閉伊郡大槌町上町1-1
TEL 0193-41-1511 FAX 0193-41-1512



一定の距離を確保しながら会話を楽しみました。



使用後は消毒（アルコール）をします。

主な記事

P2 令和元年度 事業報告

P4 令和元年度 決算の概要

P5 令和2年度 事業計画

P6 キッズマスクプロジェクト

P7 こづちちゃんが行く

表紙の写真

6月10日、三枚堂第一町
営住宅で生活支援相談員主催の
ひだまりサロンを開催しました。

新型コロナウイルス感染予防の自粛が続き、緊急事態宣
言解除後、初めてのお茶っこサロンとなりました。

ソーシャルディスタンスを心がけながら感染予防を行っ
ての開催でしたが、参加者は久しぶりの再会に大変喜んで
いました。

【新しい形のお茶っこサロン】

- ・受付時に検温と体調確認を行います。
- ・席の間隔を横1m、縦3m空けます。
- ・開催時間を短縮します。(45分程)
- ・使用前後にテーブルとイスを消毒します。

令和元年度の本会事業活動は、大槌町地域福祉推進計画の基本理念でもある「支え、支えられ、安心と生きがいを育む地域福祉」を達成するため、5つの基本目標のもと各種事業に取り組みました。

一番身近で、頼りになるコミュニティづくり

- ①地域交流用具等の貸出し
自治会へ15件 NPO・ボランティア団体へ16件 その他47件
《主な貸出し物品》
テント、長机、パイプ椅子、キャンプ机、キャンプ椅子等
- ②お茶っこの会支援事業 ※町の補助事業
16地区 123回開催 延べ3,350人参加
- ③ふれあい昼食会助成 ※町の委託事業
5地区 6回開催 延べ204人参加
- ④地域交流サロン
生活支援相談員によるサロン活動 94回開催 延べ851人参加
※令和2年3月のサロンは、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止
- ⑤住民支え合いマップづくり（課題報告会含む）
9地区 15回開催
※令和2年3月の「課題報告会」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催延期



地域交流サロン活動



住民支え合いマップづくり

地域福祉の担い手づくり

- ①社会福祉大会
日時：令和元年11月16日（土）午後1時30分～3時30分
場所：大槌町文化交流センターおしゃっち 多目的ホール
表彰者：1団体・22人（社会福祉事業功労者5人、ボランティア活動団体1団体、共同募金運動功労者4人、永年勤続功労者13名）
記念講演：演題『楽しく学べる成年後見制度落語～後見爺さん～』
講師 桂 ひな太郎さん
トークセッション
釜石・遠野地域成年後見センター センター長 石田正子さん
小規模多機能ホームやかた 代表 松田宇善さん
- ②福祉協力校事業
町内4校（大槌学園・吉里吉里学園小学部・吉里吉里学園中学部・大槌高等学校）を指定
5校の主な活動内容：福祉施設訪問、防災研究・発表、各募金活動、福祉協力校相互間の交流等
- ③キャップハンディ体験教室
大槌学園4年生が実施 62人参加
- ④出前講座（ふまねっと運動、レクリエーション等）
10回開催
- ⑤町民ボランティアの育成
ボランティア登録者数：引越しボランティア8人 雪かきボランティア29人
- ⑥ボランティアの活動支援
ボランティア受入数：99団体 307人（イベント：135人 草刈り：55人
屋内外清掃：89人 台風19号被害土砂片付け：28人）
- ⑦ボランティア保険加入促進
活動保険：30件516人加入 行事保険：55件3,291人加入
福祉サービス総合保償：3件105人加入
送迎サービス補償：1件8人加入
- ⑧大槌町NPO・ボランティア団体連絡協議会の運営
参加団体：16団体
総会・会議・研修会・イベント（3.11集い～灯火～）などの開催
- ⑨ボランティア研修会の開催
4回開催 延べ93人参加



社会福祉大会



キャップハンディ体験教室



ボランティア研修会
（憩いの場づくり）



ボランティア研修会
（防災ボランティア研修）

地域福祉の要となるネットワークと連携体制づくり

- ①広報等による情報発信
社協会報、社協だより、おれんじ通信（生活支援相談員事業）、おひさま便り（介護保険事業）、和野っこハウスだより、ワークフォローだより等の発行、ホームページの公開
- ②生活支援相談員による定期訪問活動
訪問回数 24,198回
○お茶っこ事業（地域見守り支援拠点整備事業）
県営上町アパート集会所へ設置：84日開所 延べ1,228人利用
- ③仮設支援員による定期訪問活動 ※町の委託事業
訪問回数 2,375回 談話室・集会所でのイベント開催回数 281回
※仮設住宅の閉所に伴い令和元年度で事業終了となりました。
- ④コミュニティソーシャルワーカーの配置
研修修了者 14名



生活支援相談員の訪問活動

多様な主体の連携による安心の生活支援サービスづくり

- ①日常生活自立支援事業
利用者 6人
- ②サポートセンター「和野っこハウス」管理委託 ※町の委託事業
利用者数 2,029人
※仮設住宅の閉所に伴い令和元年度で事業終了となりました。
- ③移送サービス事業
登録人数 15名 運行回数 69回
- ④あんしん助っ人便（買い物・見守り支援）
登録者 12人 注文件数 21件
- ⑤配食サービス事業 ※町の委託事業
実施日数 49日（毎週木曜日の昼食） 延べ687食
- ⑥居宅介護支援事業（ケアプラン作成）
- ⑦訪問入浴介護事業
- ⑧訪問介護事業
- ⑨通所介護事業（大槌町デイサービスセンターはまぎく）
- ⑩小規模多機能型居宅介護事業（ほっと おおつち）
小規模多機能型居宅介護事業所「ハイスこづち」を建設整備し、令和2年4月の本格的な利用者受入れ準備
- ⑪障がい者就労継続支援事業【B型非雇用型】（ワークフォローおおつち）
作業内容（SMC部品組立作業、缶詰シュリンク作業、ステッカー等作成作業、リサイクル作業、その他）
- ⑫生活困窮者自立支援事業
新規相談件数：34件 支援プラン作成件数：33件 食料支援件数：34件
○おしゃっち食堂（町内中学生・高校生を対象とした軽食提供・居場所づくり）
令和元年7月～令和2年2月（毎月2回開催）※3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
会場：大槌町地域交流センターおしゃっち
共催：大槌町、大槌町民生委員 児童委員協議会
協力：大槌町食生活改善推進員団体連絡協議会
延べ422人利用（うち中高生136人）
- ⑬大槌町生活支援・介護予防サービス協議体（町が設置）への参加
職員2名が委員として参加
- ⑭たすけあい金庫貸付事業 5件 140,000円
- ⑮生活福祉資金貸付事業 ※県社協の委託事業 5件 3,969,000円



配食サービス



和野っこハウス（昼食サロン）



デイサービスセンターはまぎく（レク活動）

地域福祉を推進するための基盤づくり

- ①寄付金・義援金 19件 581,676円
- ②寄贈物品 8件 《主なもの》車椅子、押し車、ポータブルトイレ、タオル
- ③全戸加入運動（社協会費） 3,731世帯 1,858,500円

令和元年度 決算の概要

本会の事業執行財源は、会費収入・寄附金収入・補助金収入・助成金収入・受託金収入・介護保険事業・障がい福祉サービス事業・共同募金配分金収入等であり、これらを財源として本会事業に係る事業費・事務費・人件費を賅っています。

資金収支計算書

自：平成31年4月1日 至：令和2年3月31日 (単位：千円)

科目		決算額	科目		決算額		
事業活動による収支	収入	会費収入	1,859	施設整備等による収入	施設整備等補助金収入	38,634	
		寄附金収入	1,137		施設整備等収入計(4)	38,634	
		経常経費補助金収入	11,155		支出	固定資産取得支出	118,010
		受託金収入	109,875			ファイナンス・リース債務の返済	1,404
		貸付事業収入	185			施設整備等支出計(5)	119,414
		事業収入	37	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△80,780	
		負担金収入	46	その他の活動による支出	収入	積立資産取崩収入	22,036
		介護保険事業収入	152,270			その他の活動による収入	1,282
		就労支援事業収入	8,136		その他の活動収入計(7)	23,318	
		障害福祉サービス等事業収入	37,747		支出	基金積立資産支出	278
		受取利息配当金収入	12			その他の活動による支出	2,833
		その他の収入	433			その他の活動支出計(8)	3,111
		事業活動収入計(1)			322,892	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	
	支出	人件費支出	229,867	予備費支出(10)			0
		事業費支出	44,115	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)			△41,391
		事務費支出	21,279	前期末支払資金残高(12)			228,710
		就労支援事業支出	6,972	当期末支払資金残高(11)+(12)			187,319
		貸付事業支出	140				
		助成金支出	879				
		支払利息支出	86				
その他の支出		372					
事業活動支出計(2)		303,710					
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		19,182					

貸借対照表

令和2年3月31日現在 (単位：千円)

資産の部			負債の部	
科目	当年度末金額		科目	当年度末金額
流動資産			流動負債	
現金	48		事業未払金	70,327
普通預金	216,298		1年以内返済予定リース債務	1,404
定期預金	2,500		職員預り金	471
事業未収金	30,779		賞与引当金	5,163
未収補助金	8,424		固定負債	
商品・製品	4		リース債務	936
原材料	5		退職給付引当金	31,341
前払金	68		負債の部合計	
固定資産			32,277	
基本財産			純資産の部	
土地	24,773		科目	
建物	79,752		当年度末金額	
定期預金	1,000		基金	33,522
その他の固定資産			まごころ福祉基金	33,522
土地	5,736		国庫補助金等特別積立金	108,919
建物	111,899		国庫補助金等特別積立金	108,919
構築物	5,948		その他の積立金	44,648
機械及び装置	2,385		介護保険事業積立金	0
車輜運搬費	5,590		人件費積立金	21,845
器具及び備品	3,285		建物備品等管理積立金	22,803
有形リース資産	2,340		次期繰越活動増減差額	
たすけあい金庫貸付金	404		次期繰越活動増減差額	314,279
退職手当積立基金預け金	31,341		(うち当期活動増減差額)	13,926
まごころ福祉基金積立資金	33,522		純資産の部合計	
介護保険事業積立資産	0		501,368	
人件費積立資産	21,844		負債及び純資産の部合計	
建物備品等管理積立資産	22,803		611,010	
長期前払費用	262			
資産の部 合計			611,010	

脚注) 減価償却の累計額 143,316,670円

令和2年度 大槌町社会福祉協議会 事業計画

基本理念

- 1、私たちは、だれもが安心して暮らせる「おおつち」の地域づくりをめざします。
 1、私たちは、個人の意思と人権を尊重しその生活を支えます。
 1、私たちは、常に地域の満足・利用者の満足・職員の満足をめざします。

基本目標

- ① 一番身近で、頼りになるコミュニティづくり
 ② 地域福祉の担い手づくり
 ③ 地域福祉の要となるネットワークと連携体制づくり
 ④ 多様な主体の連携による安心の生活支援サービスづくり
 ⑤ 地域福祉を推進するための基盤づくり

資金収支計算書

自：令和2年4月1日 至：令和3年3月31日 (単位：千円)

科目	総計	社会福祉事業				公益事業			
		法人運営事業	地域福祉事業	介護サービス事業	障害サービス事業	一般乗用旅客自動車運送事業	地域支え合い事業		
事業活動による収支	収入								
	会費収入	1,830	1,830	0	0	0	0	0	0
	寄付金収入	13	12	0	0	1	0	0	0
	経常経費補助金収入	11,379	7,044	4,335	0	0	0	0	0
	受託金収入	93,244	0	93,015	229	0	0	0	0
	貸付事業収入	414	0	414	0	0	0	0	0
	事業収入	60	0	0	0	0	60	0	0
	負担金収入	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護保険事業収入	185,429	0	0	185,429	0	0	0	0
	就労支援事業収入	10,561	0	0	0	10,561	0	0	0
	障害福祉サービス等事業収入	37,861	0	0	3,601	34,260	0	0	0
	受取利息配当金収入	13	5	1	6	1	0	0	0
	その他の収入	143	2	72	9	60	0	0	0
	事業活動収入計(1)	340,947	8,893	97,837	189,274	44,883	60	0	0
支出									
人件費支出	253,907	8,515	64,490	158,552	22,350	0	0	0	
事業費支出	39,765	357	12,606	23,136	3,421	245	0	0	
事務費支出	24,760	1,441	19,499	3,095	690	35	0	0	
就労支援事業支出	10,561	0	0	0	10,561	0	0	0	
貸付事業支出	300	0	300	0	0	0	0	0	
助成金支出	1,054	504	550	0	0	0	0	0	
支払利息支出	88	0	0	88	0	0	0	0	
その他の支出	2	2	0	0	0	0	0	0	
事業活動支出計(2)	330,437	10,819	97,445	184,871	37,022	280	0	0	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	10,510	△ 1,926	392	4,403	7,861	△ 220	0	0	
施設整備 による収支	収入								
	施設整備等収入計(4)	0	0	0	0	0	0	0	0
	支出								
	リース債務の返済支出	1,407	0	0	1,407	0	0	0	0
固定資産取得支出	0	0	0	0	0	0	0	0	
施設整備等支出計(5)	1,407	0	0	1,407	0	0	0	0	
施設整備等収支差額(6)=(4)-(5)	△ 1,407	0	0	△ 1,407	0	0	0	0	
その他の活動による収支	収入								
	事業区分間繰入金収入	220	0	0	0	0	220	0	0
	拠点区分間繰入金収入	1,355	1,344	11	0	0	0	0	0
	サービス区分間繰入金収入	4	4	0	0	0	0	0	0
	その他の活動による収入	1	1	0	0	0	0	0	0
	その他の活動収入計(7)	1,580	1,349	11	0	0	220	0	0
	支出								
	基本積立資産支出	10	10	0	0	0	0	0	0
	事業区分間繰入金支出	220	220	0	0	0	0	0	0
	拠点区分間繰入金支出	1,355	11	289	985	70	0	0	0
サービス区分間繰入金支出	4	4	0	0	0	0	0	0	
その他の活動による支出	3,000	3,000	0	0	0	0	0	0	
その他の活動支出計(8)	4,589	3,245	289	985	70	0	0	0	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 3,009	△ 1,896	△ 278	△ 985	△ 70	220	0	0	
予備費支出(10)	7,310	0	250	5,760	1,300	0	0	0	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 1,216	△ 3,822	△ 136	△ 3,749	6,491	0	0	0	
前期末支払資金残高(12)	177,492	13,527	2,673	104,110	57,182	0	0	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)	176,276	9,705	2,537	100,361	63,673	0	0	0	

「キッズマスクプロジェクト」 進行中!!

新型コロナウイルスの感染拡大にともない、手作りマスクの需要が高まっています。ボランティアセンターでは町内の幼稚園・保育園に通う園児（年中・年長）に手作りマスクを届ける「キッズマスクプロジェクト」を企画し、作成に取り組んでいます。

手作りするマスクの材料は、盛岡市を中心に古着販売を行っている「ドンドンダウン オン ウェンズディ（運営：株式会社ドンドンアップ）」から、無償で提供いただいています。

プロジェクトは、町内で活動を行っている個人や団体のボランティアの方から協力を得ながら進めていき、作成したマスクは消毒・殺菌をした後、幼稚園・保育園に届ける予定です。

「大槌町老人クラブ連合会女性部」のマスク作成の様子



【キッズマスクプロジェクト 協力者募集中!!】

大槌町文化交流センター“おしゃっち”に手作りマスクの協力コーナーを設置しましたので、ご協力をよろしくお願いいたします。



赤い羽根「被災地住民支え合い活動助成」



岩手県共同募金会では、今年度も、東日本大震災被災地の復興に向けて、被災地住民の孤立を防ぐとともに、日常生活を支える活動やコミュニティ再生を目的とした活動を支援するため、助成事業を実施しています。

この助成事業は、「被災された人たちを応援したい」という全国からの思いのつまった募金により行われています。

対象者：岩手県民5名以上で構成されている非営利団体

活動内容：被災者を対象に行われる

- ① 孤立を防ぐ活動
- ② 日常生活を支える活動
- ③ 地域住民同士のつながりを支援するための活動

活動期間：助成決定後から令和2年3月31日までに実施される活動

助成金額：(1) 中期的な活動の場合（概ね3ヶ月以上の活動）

総事業費の90%以内で上限27万円

(2) 1日限り・1回限り等の限定的な活動

総事業費の90%以内で上限9万円

応募方法：大槌町共同募金会が窓口となります

※岩手県共同募金会の助成予定額に達した時点で受付を終了します。

助成金を利用した活動紹介
【おおつち子ども食堂】





今回は大槌町赤十字奉仕団の堀合成子さん、黒沢りえ子さんにインタビューを行いました。

■活動のきっかけ

大槌町赤十字奉仕団は1997年、岩手・大槌町で開かれた第17回全国豊かな海づくり大会の前の年に、結成されました。

当時のメンバーは40名程おり、主な活動としては、献血推進活動、災害時の救護、炊き出し、その訓練、他団体と協力しての地域貢献活動を行って来ました。

堀合さん、黒澤さんはともに、結成した時からのメンバーです。



堀合さん

黒沢さん

■大変だったこと

震災前の3月3日は毎年、大槌町全体で避難訓練を行っていましたが、その時に赤十字奉仕団としても炊き出し訓練を行っていました。早朝、外での準備や作業はとても寒く、大変だったことを覚えています。

ただ、その経験があったからこそ、過去に町内で起きた山火事や東日本大震災の災害現場や避難所での炊き出し作りに対応できたと思っています。震災後は、社協ボランティアセンターが主催する「防災研修会」に参加し、炊き出し袋を使った非常食作りを通じて、参加された方々の防災意識を高める取り組みに協力しています。

■これからの目標

一つ目は、現在、大槌町赤十字奉仕団の登録人数は14名と年々メンバーが少なくなっています。

これからの活動を考えると、一人でも多くの方に、奉仕団の活動を理解してもらい、メンバーに加入し、次の世代に受け継いでいきたいと考えています。

2つ目は、町内の子供達に自分の命を守る大切さを伝えていきたいと思っています。

昨年9月に大槌学園の防災学習に参加し、生徒らと一緒に非常食を作りました。このような活動に積極的に参加し、関係機関と連携しながら子供達に思いを伝えていきたいと考えています。



■みなさんに伝えたいこと

献血のお願いです。県内では慢性的に血液が足りない状態です。今でも輸血を必要としている方々がたくさんいるので、一人でも多くの方のご協力をお願いいたします。

18歳から(200ミリリットル献血は16歳から、男性の400ミリリットル献血は17歳から)69歳(64歳までに献血したことのある方)のどなたでも献血できます。

ただし、受付時に血色素量(ヘモグロビン濃度)が一定以下の人などは献血により健康状態が不安定になるおそれがあるため献血できないことになっています。

献血は体調の良い時にお願いします。

ハイゼックス袋で作るご飯は、水を最小限で作ることができるため、災害時にはとても便利です。地区の防災研修会等で紹介と試食もできるそうです。



こづち

〜ご寄付のお知らせ〜

令和2年2月から令和2年5月までの受付分をご紹介します。ご支援いただきました皆様ありがとうございました。

(敬称略)

【寄附金一覧】

- 株式会社ブリッジ ……100,000円
- 子丑会同級会一同 …… 24,000円

- 大槌中学校昭和50年度卒業生還暦同級会 ……58,101円
- 原スポーツ来店者による義援金(紫波町) …… 3,184円

【寄贈品一覧】

- 吉田 隆 ……クッキー
- (株)山長建設 …… 車椅子3台
- 中村百合子 …… 手作りマスク35枚

- 復幸きらり商店街 会長 山崎 繁 ……車椅子2台、歩行器2台
- 桜木町老友クラブ …… 雑巾110枚

幸せの写真館

ハア、ハア…
もう少し…
(ゴミ出し中)



はじめての三鉄
パパと一緒におばあ
ちゃん家へ…
楽しかったなあ♪



はじめて美容院に
行ってきたよ～
みて！この笑顔



投稿写真大募集！！

ペット、家族、風景など…ホッと癒される写真や幸せを感じる写真を募集しています。

写真データを下記のアドレスに添付して、写真の一言コメントも必ず添えてお送りください。

otsuchi-soumu@otsuchi-shakyo.jp

お知らせ

大槌町社会福祉協議会では、自治会や団体などに物品（イベント用品、作業用品、レク用品）の貸出を行っております。

- 例えば
- イベント用品…テント、テーブル、パイプイス、綿あめ機、ポップコーン機など
 - 作業用品…草刈り機、カマ、スコップ、一輪車など
 - レク用品…スカットボール、ポケネット、輪投げセットなど
- 地区でイベントなど行う際はぜひご利用ください！



大槌町社協ホームページ情報

町民の皆様には社会福祉協議会として、よりよい情報をお届けできるようホームページを開設しています。パソコン、携帯電話などでご覧ください。

携帯サイト

携帯電話でもサイトの一部を公開中です。



<http://www.otsuchi-shakyo.jp/>

編集後記

今年、新型コロナウイルスの影響で、不安を感じる日々が続いていますね。最近はずっと日常生活を取り戻していませんが、手洗いの徹底や三密を避けるなど、引き続き一人一人ができる対策を続けながら、みんなが乗り越えて行きましょう。